

---

# トリプラス エピソード 2

マイシア マルキュリア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

トリプルズズ ハピソード 2

### 【Zコード】

Z3453C

### 【作者名】

マイシア マルキュリア

### 【あらすじ】

車を走らせていると空一面にエックス型の細長く引かれた雲が目に映りましたその雲の先は限りなく延びていましたその中心に向かつて尾をひいて進んでいるホウキ星のような雲が海の方からひとつ山のほうからもひとつその下の地上には虹が現われていました何枚かのフォトの一枚だけに虹が写っているほんのわずかな瞬間に

### 3・1 イノチとカルマ (RELATION)

宇宙神はサンタのようにプレゼントを下すのです  
それはイノチの物語といつ皿には見えないプレゼント

神は人にあなたの命の目的はこつあるのだよ

だからこりうイキルがよいとイノチの物語をプレゼントしておられる  
のです

でも人にそれを受ける望みがなければプレゼントは地に落ちてしま  
うのです

サンタのプレゼントは靴下の中に現われるとい  
うのです

その理由はね 靴下は人のいちばん下になつて働いている

人もそうあれば神のプレゼントはその中に現われるという教えな  
です

宇宙なる神はあらゆるすべてになつて人に仕え尽しておられます  
水や光や空気はもちろん・あらゆる物質非物質となつてです  
だから靴下は宇宙神の尽くす相の象徴(スガタ)ですね

そして宇宙なる神のプレゼントはパズルのピースのようなもの  
はじめてのピースは3才の頃

それにはすべての目次が書かれています

けれどそれはクモリガラスの向うを見るようでぼんやりと觀えるよ  
うな感じです

それからピースは一枚々と集まつてゆき

15才の時には立志というピース

自分は今回の人生で何を為すべきかといづピースです  
ボクとキミの最後のピースはビートルズのラヴ  
パズルはもう全部出来上がつてます

後は現実に現わすことフルマウ<sup>マドワズ</sup>ということなのです  
孔子様の教えには四十にして不惑<sup>マドワズ</sup>と教えられている  
その頃にはすべてのピースは揃っているのです  
ラヴにはボクとキミの過去現在未来のすべてが明かされているのだ  
から

現代はクリスマスのときにモノやお金でプレゼントをするよね  
それは仕え尽くしもせず努力をしなくてもプレゼントは貰えるという事を魂が覚えてゆくのです

それはやがて傲慢な人間をつくりだしてゆくことになります  
だからモノをくれるサンタはサンタではなくサタンなのです

そしてモミの木には鈴や色々な飾りをつけるよね

モミの木は大地に根をおろし天に向かって枝を伸ばしてゆく

それは宇宙<sup>ソラ</sup>なる神の現われの姿を表しているのです

その枝につける鈴やそれぞの飾りはこの世界に現れた人や物なのです

鈴は銀の鈴持つ人々なのですね

リン

キミはステキだね

キミに逢えて本当によかつた・・・

感謝の祈りがボクの胸からゴダマスル

レイ

A L L Y O U N E E D I S L O V E

あなたのアイがわたしのすべて

レイ

あなたにわたしの愛を

あなたの胸で眠りたい

リン

ボクはキミによって道をヒラキ

キミはボクによってメザメル

リン

キミがボクを愛する心は祈りとなる

いつもキミとボクは同時だね

そう いつもひとつ・・・

キミが知つたように人の想いが間違つていても咎めだてはならない  
のです

言葉で言えるのはわが子の縁と子弟の縁を頂いた場合のみに許され  
ること

後はただ運命の運びによつて自らが気がつくのを待つばかりでしょ  
うか

神の運びによつて レイ

そうね

ふたりで祈つてゆきましょう リン

リン

ボクはキミのような存在はこの世に皆無と思つていた  
キミには人にはない煌めきがある

もちろんわかつてはいるよ

キミだからこそだという事はね

でも言わずにはいられない

キミは本当に特別だね

言葉にできない感動にボクは胸がアツクナル レイ

レイ

わたしこそ

あなたに出会えなかつたならわたしの沙漠は永遠に続いていました  
あなたこそ夢にまで観たわたしの理想そのものなのです リン

リン・カルマとは憑依でもあるのです

憑謂は気がつかないほど人の心に巧妙に入り込んで

それは始め小さな芽のようにヒソヤカニ

そのままにしておくとやがて芽は育ち全身全靈を操られてゆく

欲望と自己満足の世界へと

それは宇宙神との間に隙間をつくり破綻をせるように仕組まれています

憑謂はガンのような病気に似ていて

それを見抜いている者には焚き火にちりがみをくべるように一瞬の内に燃えつきてしまうのだけれど

ほんの少しでも心動かされたならば一瞬の内に心の内にこびりつき本人の意思に拘らず心に巣くつてゆくのです

現代は憑依をされていない人は存在しないといつてもいいでしょう

レイ

わたしの心に巣くつたもの・・・

わたしの左目が一日チクチクしていたのはそのせいなのね  
教えていただいてよかったです

リン

キミの左目が開いたその日から

キミは神の白洲に立たされているのです

それまであった護りはなくなつてカルマの海に素のままで漂つているようなもの

天地を解明かし人の世とカルマの原因をトキアカス  
それ以外に憑依から離れる道はないのです

大丈夫・ボクがいるのだから　　レイ

ありがとう

わたしはいつも心配ばかりかけて

あなたに返すことばも見つからない

キヨラナ魂を取り戻し愛する人に捧げることができますように

リン

キミのナミダは憑依のカルマを解かしたことだりう  
家のキツチンカウンターの窓下には小川が流れているんだよ  
今朝そこに白鷺が舞い降りて来たんだ

アア

キミの事だと想つていた

でもキミがカルマの正体を掴まなければきっと同じようなことは度々起ころうでしょう

女性の心はコレ易いもの

真情は心情となり感情となりやすいのです

レイ

コレ動きユサブラレル

これがカルマの支配でもわたしは受け止め受け入れることしかできない

嵐いでも荒れても海はウミ

他の方法なんてわからぬ

もともと妻は失格のわたし

自分の家の争いさえ無くすことも叶わないのに

女としても失格・・・

この一月のわたしは自分すら制御できない

惨めで憐れな姿

それでもわたしはわたしを赦します

でもあなたを苦しめているのもこのわたし

わたしはあなたを苦しめるわたしを許すことなどできない・・・

わたしの世界は色褪せて仕事にすら魅力を感じない

こんな自分になるなんて想像もできなかつた

あなただけを見てあなただけを愛していいたい

あなたの為の私でありたい

心に広がる想いに押し潰されてもかまわない  
それが女であるというならば

わたしは生まれて初めて女性に目覚めたのです  
剥きだしの感情を抱えてわたしは一步も進めない  
昨日まで聞こえていた鈴音も聞こえない

凛としてキヨラナ自分に還りたい  
揺るぎないアイで満たされていた  
レイがいつも傍にいた

タスケテ神様・・・タスケテ・・・・

リン

リンよく聞くんだ

キミは人類がやがて通らなければならぬ所を先駆けて通り抜けて  
いるんだ

たつた今この瞬間もカルマの海を漂っているんだよ  
破壊しているのはキミの家だけじゃない

ボクの家も一見普通に見えてはいるけれど  
ボクの目から見れば未来はないのです

これは世界中がそうなのだから僕達だけが避けて通れるものではない  
だから今はしようがないんだ

だからこそボクとキミはその身そのままで宇宙を解明かし  
アイをこの地上世界に現わすのです レイ

進化のスピードはちゃんとわたしに合わせたものだったのに  
勝手に焦つて背伸びして慌てふためいてしまいました  
アステイの泉であなたと誓つたことを忘れて・・・・  
本当は地球なんてどうでもよかつた  
あなたさえいれば他にはなにもいらないと想つていた  
わたしには危機をぼんやりとしか感じられないけれど  
あなたの感じる波がわたしに押し寄せてくるの  
だからふりをしていたのね

あなたはそのことを「存じだつたから  
私に入り込んだ魔に心を痛めていたのね・・・  
カルマの海で溺れかかつたわたしにフウーフウーと息を吹き掛けて  
息吹をソソギ呼吸を助けてくれた

あなたが愛する地球だからわたしも愛するふりをしていた  
いまでも本当はあなただけと想っています  
でも此の頃少しだけ地球も愛しく想えてきたの  
子供達の未来に希望が与えられるのならば・・・  
わたしの進化はあなたなしでは有りえない　　リン

わかつてゐるよ・リン

その今の想いが宇宙神御自身のお悩みなのです  
キミの中で起つてゐる葛藤は宇宙神御自身の葛藤なのです

ボクは妻に感謝している

そして彼女の為ならどんな事だらうとしてあげたい  
もちろんキミと妻とでは天命も素性も違う  
妻には機を見てキミとの事を話そうと思つています  
彼女にわかつて貰えるかわからぬけれどとにかく話してみる  
ボクは妻にはキミとのことを知つてほしい  
たとえどのような展開にならうとも  
仮に離婚して家族がばらばらになることになつても  
お別れの日までなんらかの形で呪してあげたいと思つています  
キミが以前言つていたように

20年頃にはお互ひの状況はがらりと変わつてゐることでしょ  
ウ  
リン

恋という文字は天から現れた者がふたりに分かれて  
天に繋がつて結ばれている心と云つ形に見えるよね  
キミが言つていたように人が恋をする時の心は

自分と分かれた双身の君を想うところからあらわれて来るのでしょうか  
そして人は恋の風景にひかれ恋を求めて流離うのですね レイ

恋という文字は天から吊り下がつて  
ユラユラコレテ半分の魂を搜すのね  
人はその想いを唄に物語にしているみたい  
あなたと逢えない時間が恋心を育て  
あつているときがふたりの永遠の時間  
そんな気がします  
永遠のときを想いあなたといつもひとつでありたい

リン

### 3・2 電はひらかれた

今朝はアイズの町も山々も朝靄アサモヤのベールに包まれています  
ボクがエピソードのミスプリントを子供のお絵書き様にバインダー  
に裏返して挟んで

店においていたのを何故か妻が自宅に持ち帰り先程少し読んでいた  
ようです・・・

それから勤めに行くまで彼女は何も言わなかつたけれど  
これも神の導きと思うので静観しておきます レイ

ヨコハマは雲間から太陽が見え隠れしていくお陽様は暖かい  
たぶん奥様は気がついているのでしょうか  
うまく言えないのですがわたしは何があのうと平氣です  
神様にお任せします

こちちらも日々に寒くなつてきてベッドが恋しい季節です  
冬きたりなば春遠からじ

冬は必ず春となる

小さいときに習つたような

春の訪れが待ち遠しいけれど雪は好きです  
アイズの冬は美しいのでしょうかね

リン

リン

昨夜ボクは妻にキミとのことを話したよ

彼女はさめざめと泣いていた・・・

キミとの事を断ち切るように求めてきたけれどボクは感じなかつた

キミとボクは特別な関係であるといつこと

ボクを許せないのはボクを結婚という鎖で縛り

夫なのだからといつ想いの手かせ足かせをつけてボクを所有したい

という心なのだと

自分の安心できる範疇でボクを自分の自由になる都合のいい存在として

置いておきたいのだということを彼女に伝えたよ

ボクは妻にいつもこう言つていた

夫婦とはお互いの翼となり雨を避ける傘となり

歡びをともにわかちあうもの

けして相手の自由な意思を奪うものではないと・・・・・

だからボクは妻が人として成長し真の幸せに向かうのならば

どんなことも認めてきたし

どんなこともあげたいと思い考え行動もしてきた

ボクは夫婦でも別々に恋人がいてもいいのじやないかと以前から彼女には話していたよ

夫婦も数年経つとお互い馴れ合いになりすぎて

恋する心など相手に持てるはずもなく

只に生活の為と人生を謳歌する為に費やすようなことになってしまつ

でもボクは違うと思つている

人生は自分をこの世に現わしておられる存在の為にある

その為に自己を研ぎ高めて成長し

やがてその役に立つような自分にすることが大切なのだと

ボクは20数年美容師という仕事をしていて

女性が美しくなることの根本を発見したんだ

それはエステに通うことでもなくスポーツクラブに行くのでもなく  
サプリメントを飲んだりするのでもない

それはね

恋のチカラ

恋する心は人を成長させ美しく若くさせる

人生に喜びと感動をもたらしてくれる

結婚した相手にその恋心を持ち続けられればいいのだけれど

それは不可能だということをボクは知っている

だから妻にはボーイフレンドをつくりなさいと言っていた

色々な男性とおつきあいすれば勉強になるし

そのほうがこれから年をとつていってもステキな人生になるよね

年をとつて必要なのは友人

ボクという存在だけでは妻の心は動かないのだね

あまりに身近すぎてボクの話は聞かないし

化粧もしなければ痩せてきれいになろうとも思わないのだから

でもボクは努力し続けてきたよ

何とか妻にわかつてもらい美しくなって人生を価値あるものにして

もらいたくて

結婚して10年はほとんど2日空けずに妻を抱いてきた

それすら人にはなかなか出来がたいことをボクは知っている

でも妻はそれを当然と思つてているのだね

ボクはキミと再び出逢いキミと愛しあつてから

ボクが想い考え感じてきたことが間違いでなかつたという事を確信したよ

キミとの事は妻にとつてもいい機会だと思つています

ボクはこれを機に彼女が成長する事を願っています

15年間妻は夫婦でりながら一度もボクと会わずボクの話を聞いたこともない

でもそれを言葉で言つても本人には解らないだろう・・・

未熟は罪ではないけれど

自らの怠惰に任せて自己の成長の努力を怠り

未熟をそのままにしておくならばそれは宇宙の中では罪なのです

ヴェネチアの頃の館とキミがいるワカヤギさんの居宅の光景が  
ボクの記憶の中で重なる

彼の母親と後から入れた女性

今家の場所も、ヴェネチアの時のように埋め立てが進む以前には  
港に海が見えていたのではないだろうか

レイ

ミナトミライが出来る前は三菱重工があり  
船に携わる方々でここは栄えていたそうです

地図は見つけられなかつたけれどその昔は海の近くだつたようです

造船所の波止場町で船の行き交う港の町

わたしはこの家の屋上でカラダを埋められて首だけさらされて生き  
てきました

ワカヤギさんの姉がヴェネチアでの彼の後妻  
嫉妬深くわたしを虐待していた・・・  
彼女も同じです

六年ほども前になるでしょうか

わたしがワカヤギさんと別れるために家を出でいたとき  
ボクを心の夫にすればいいのですよ・・・とあなたは言いました  
わたしはあなたが言われたようにワカヤギさんと何度も話をして  
壊れた関係を作り直し

子供達のためにも家族の為にも幸せにならうと決めて  
戸籍上は離婚をしてワカヤギさんの家に戻りました

あなたの言葉はいつもわたしの胸に・・・

ワカヤギさんをあなただと想い生活してきたのです  
今ではワカヤギさんの姉からもありがとうと言われることが増え  
ワカヤギさんは復縁を求めてきます

もちろん応じるつもりはありません

子供達の育ちを見守り

愛から平和が生まれるということを教え大切にしてきました  
この家のわたしの役割はもうじき終るでしょう

あなたと出会い

今のわたしはとても平安で穏やかなのです

地球上に生まれてよかつたと自然に宇宙なる神様に

祈っている自分に少し驚いています

わたしはワカヤギ家から認められ

わたしもすべてを許しています

わたしのカルマはやがて消えてゆくでしょう

ヴェネチアの後の残酷非道な行いも

たくさんの剣で切り刻まれた夢を観た時に神様がお赦しくださった

と感じました

あなたとわたしを引き離すことはもう誰にもできません

奥様は私の事をお認めにはならないでしょう

奥様が望まれるのなら奥様の剣でこの胸を刺し貫かれてもかまわない

言葉はもどかしく

うまく伝えられたかわかりませんが

わたしのことは大丈夫です リン

リン

キミの心の言葉が聞けてボクはうれしい

妻も今は動搖しているけれどきっとわかる時が来ると思う

エピソードの今までのものを妻に全部読んでもらおうと思っています

ボクは時間をかけて説明してゆこうと思つている

いつか妻にキミを紹介できる日が来るよう

レイ

奥様もきっとおわかりになるときがくると信じます

神様の御心のままに・・・ リン

あなた

私の心は悲しみでいっぱいです

でも生き続けなければいけないのです

それを知りながらも彼女と結ばれなければいけないのですか  
彼女を失う悲しみはきっとあなたにとつて死よりも辛いこと思います

私は死よりも深い悲しみのなかで助けを求めています

マサミ

マサミさん

キミが夢で見せていただいた鎌倉の時代のボクが僧侶であるときも  
キミは何ひとつボクに道を尋ねてはこなかつた  
キミは女としてのありきたりな幸せだけに満足と不満足を覚えていた  
でもボクはそれでもいいと思っていた  
やがてのうちに気がつくことを願つていたのです・・・  
ボクはその時からずつと胸を痛め続けキミの成長を願つていました  
これからは本当の話がしたい

今までの夫婦の対話は連絡と報告

後はキミの愚痴と弁解をボクが聞いていただけでした  
ボクはキミと真実の話がしたいのです

ハルキ

私はそれらのことすべてが夫婦だから当然と  
それがわたしの日々でしたから

マサミ

いまキミに見せる物語を印刷しています

今まで本当のボクを15年間キミに話した事はなかつた  
でもキミには知つてほしい

もう少ししたら帰ります

ハルキ

リン

妻にエピソードを読んでもらつたよ  
いろいろと話もした

彼女はキミに対してもう嫉妬する気持はないと言つています  
キミのアドレスを教えてほしいと言うので教えてあげようと思ひます

妻の守護靈様は近頃ずっと

逃げてはいけないと彼女におっしゃられていたそうです

逃げてはいけないと彼女におっしゃられていたそうです

妻は鎌倉の頃のボクが僧侶であったときの名をタマヒと云つそつです  
その時代僧侶が妻帯することは世間の避難をひとつに受けられるような  
スキヤンダルでした

二人の間には一子を恵まれたのですが

世間の波風は強くやがてボクはある事件によつて北の庄越後に流され  
妻はその間に都にて若くしてその生を終えたのです  
彼女は十年ほど前にその時の事を守護靈様に夢で見せていただいて  
います

彼女はきっとこれから真実の人生を歩んでゆくでしょう

成長されることを祈ります レイ

わかりました

向き合う覚悟になられたのですね  
わたしは待っています リン

リンちゃんと呼んでいいですか

昨日まではたくさん泣きましたが今は落ち着いてきました  
聞きたいことがいっぱいあるのに何を聞いていいのかわからないの  
です  
エピソードを読んでおふたりが私にはわからない  
まだわからぬこところで真剣にお逢いしていることだけはわかりま  
した  
私の存在はあなたにとってビのよつて映つているのでしょうか

マサミ

マサミちゃん

あなたのお仕事もナースだと伺っています

ナースの仕事はそれだけで菩薩業だと亡くなつた母が書いておりました

した

私達はたぶん似た者同士

そんな気がしています

家族ぐるみでお会いしていたならば

私達は姉妹のような友達になれたのではないでしょうか  
許されるならばあなたにお会いして語り合いたい

人はそれぞれに自分の登る螺旋の階段があつて  
それは時々踊り場で交差してゆく

その巡り会いは神様の決め事

あなたとわたしの出会いはこのよつた形だったたというだけ  
お話しができたことをとても嬉しく思っています

あなたの優しさに感謝しています

ありがとうございます

リン

リンさん

いすれお会いする日が来ることは胸の響きより感じております

先程あなたの写真を見せていただきました

また嵐のごとく嫉妬と憎しみの波にさらわれるのではないかと思いつめらいもありましたが

やはり見なければと思いました

目の光の強さ

そこから出るのは夫と同じでした

もしもあなたにほんの少しでも女の生なましいものを感じていたら

私は心を失いやつと近頃お会い出来た守護の方オトウサマを失うところでした  
見てよかつた・・・どこか夫と似ているあなた

ママ

レイ

わたしは恥じています

地球に生まれることができたのはわたし自らが望み  
神様がお認めになつたからなのです

あなたの奥様とお話しをしていて気づかされました  
神の計らいに感謝しています

あなたが以前ふと呟いたこと

もしも21年前にあなたと出逢つっていたなら

そうだつたらあなたの奥様やワカヤギさんや子供達を傷つけること  
はなかつたかも知れない・・・

でもあなたもわたしも今の家族なしでは有りえない  
出会いの順番は定められた道

過去に向き合いカルマを解き明かし天のツトメをはたす必要があつ  
たのですね

あなたの奥様の強さと優しさに感動しています

あなたの奥様の健気さがわたしの胸に染み入ります  
わたしもまた少し大人になつた気がします

レイ

あなたはなんて・・・アア神様

わたしはレイに相応しいのでしょうか リン

リン

神が導きなさしめたもうのであつて

ボクは只の器にすぎない

キミの祈りが天地に鳴動しマサニイさんの心をも動かしているのです

レイ

あなたの教え導きがあればこそ  
自分の至らなさに泣けてきます リン

リン

これからも家族に

そしてふれあう人々に尽してゆきましょ

これからは彼女の成長の為に助力してくれるね

レイ

はい

わたしだできることを心以してお役に立てるように務めます

リン

リン・ありがとう

今日はおやすみ

明日もきっと忙しいからね

レイ

おやすみなさい・レイ

神様の心に擁かれて

すべての生きとし生けるものに真実のアイが伝わりゆきますよ

リン

昨夜奥様は安らかにお休み出来たでしょうか

わたしの中に埋っていた何かが目覚めたような

そんな気がしています

リン

彼女は心懸けが少し変わり始めたようです

今は辛い思いもあるでしようがやがて真実の歓びに目覚めてゆくで

じゅう

キミのおかげだね

彼女はエピソードを読んでキミという存在とキミとボクの関りあいに心打たれたのです

エピソードにはやがて人が歩むべく命の真実が明かされているからね妻は求めあいから与えあいへの道に変わり始めているようですが

レイ

未来への扉が開かれたのですね  
心からの祝福を贈ります

ワカヤギさんの身の上にも変化があります  
目に見えない大きな力が働いている気がすると本人が話していました  
時期がくればあなたとのことをお話ししようと思つています

リン

そうだね

きっとその日は来るでしょう

彼も大切な家族なのだから

レイ

ええ  
大切な家族 リン

リンさんにメールをしたのはすれば何かがわかると思ったからです  
したほうがいいと守護霊様からも言われました  
マスター  
リンさんの語りかたがあなたと同じでした  
メールをする時に私の心は波ひとつなくそんな自分にっこし驚きました

した

私の心は定まったようです  
まだ頭ではいろいろ考えてしまいますが

これがカルマなのでしょうか

昨夜あなたに抱かれていながらもあなたの目を見るのが怖いような  
なにひとつわからない自分とリンさんとあなたの愛しあう姿を想い  
裏切られたという哀しい悔しい思いが涙になり流れました  
心と頭と体が別々に分裂しているようです マサミ

マサミさん

キミの戸惑いに無理はありません

キミはリンにメールをしなければならなかつたのです

ズタズタになつた様な胸のうちで決意したことを確認するためにも  
リンはあの後ボクにメールをくれてね  
涙しながらキミに報いる事を誓つていた

彼女も成長したよ

そしてキミの心には人を恋しみ慕うとこゝう真心が芽生えはじめたね  
カルマがあるうちには嫉妬心やボクが自由にならない思いに苦しい気持  
になることもあるでしようが

そんな時は『ああ神様 未熟なワタシをお許し下さい』と祈るのです

アイは競いあうものでもなく専有するものでもありません  
ただ与えつけ尽くし続けるだけでいいのです

キミの心が散り散りになつてているのは

ボクが自分の思い通りでないと気が済まないというカルマの崩れ散  
る感触

そこにはやがて朝日が射し込むように神の心が人を恋しむ心が育ま  
れてゆくことでしょう

守護の神靈も喜んでおられます レイ

私はリンさんに妻としての居場所と役割を教えていたいたように  
思います

今は少し感謝しています

メールの際にはお伝え下さい マサキ

リン

妻はボクにメールでこう言つていました

キミに妻としての居場所と役割を教えて頂きました  
感謝しております レイ

わたしはこれから娘一人と買い物と映画です  
子供達のリクエストで今夜は外食

奥様は健気で素直な方ですね

ヨコハマは一日晴れわたり

神様の祝福に感謝しながら

あなたを想い優しい気持ちで過ごしています

リン

マサミさん

鎌倉の頃ボクが朝廷の命により越後に配流している間に  
キミは病をこじらせて命を落としたのです

そう

父君の後を追うようにして・・・

キミが言つていたように昨日キミは一度死んだのです  
そして生まれ変わりこれからは真実の人生を生きるのです  
形ばかりで一生涯心あわぬ人生がよいか  
心通わせ温めあい成長しあう人生がよいか  
玉日の玉は宝のこと日は神を現わすのです  
神宝はキミが最初に頂けるのではないでしょつか

ハルキ

胸の痛みはおなじでも今は一人ではありません

御父様に見守られています

必ずや本当の女性になることを教えて頂きます  
タマヒの心とともに

マサミ

マサミさん

想いや感情は魂から流れてくるのです

それは過去から現在までの想い行いの積み重ねでもあります  
それが魂の癖習慣となりカルマを育てるのです

それをそのままにせず自己の意思の力をもつて駆けてゆくのです

出来ないことを悔やむのではなく出来るようにならうとして

苦しくても辛くても正しくありたい

真実の道を歩みたいと願うその心が祈りとなり

その涙がカルマを解かしてゆくのです

レイ

### 3・3 マサニラの変化

わたしはニュースを見聞きして涙を零すよくなつたの

事故や殺人

民族紛争に飢餓

汚職にいじめに災害・・・

しばらくは見ないようにしていたけど辛いの  
このままではいけない

神様の嘆き悲しみが伝わってくるようすです

レイ

あなたに逢いたい

あなたの胸のなかにわたしを置いてください

リン

世の嘆き悲しみ苦しみ傷みはそのまま守スル田なる神のお苦しみ

そしてカルマの現れ消えてゆくスガタ

オミナなるキミにはそのまま響いてくることでしょ  
うだからこそボクはキミの身と心を愛し慈しむ  
すると地球上のそれは少しずつ癒されてゆく  
キミの右の目に宿る怒りと悲しみはボクが代わりに受けたのはそこ  
なんだ

だから僕達は応えあう

キミとボクは逢わなければならなかつたんだ

キミの胸の傷みはキミにもつきとめられぬものがあるでしょ  
う

その傷みの響きはボクの胸にも響いているよ

レイ

愛をあなたに

あなたとともにこの身と心が神様のお役にたてますよ

ありがとう・レイ

離れていてもあなたとはひとつ

あなたの胸をおかりして今夜は休みます リン

マサミさん

今朝は朝日が雲を抜けて光りの御柱が遍く降つておりました  
キミのいるところの上にね  
キミの決意が決心になつた事への天地と宇宙の神様の祝福でしう  
フォトを送るよ レイ

朝の写真ですね

私も青空を覆う薄雲を割つて光りが降りそぞぐのを子供部屋から見  
ていました

その時に階段をひとつ昇れたのかなと思いました  
和室の窓から射し込んで来る光に胸の誓いを申しあげたら

太陽の光が揺れ始めて

それはやがて緑色に変わり何度も何度も揺れていきました  
外は黄金色となりすぐ近くから山の方へそして空へそして太陽のほ  
うへと拡がつてゆくようでした

これはどんな意味があつたのでしょうか

マサミ

キミは今朝

ボクの話しに耳を澄まし心を澄まして聴いていた

その後も繰り返し繰り返し考えて意味を理解しようと心で反芻して  
いた

するとボクの心が感じられて

今まで聴こうとしなかつた自分への悔いと神様への詫び心がキミの  
流した涙だった

そして誓いの祈りをキミはしていたね

朝の光はキミへの祝福だった

その後の光の戯れは守護の神靈のお父様が喜びの涙をひとつと流されて  
扇を手にひとさし舞いを舞われておられたのです

そのお姿が緑色の光の彩りになつてゐたのです

レイ

クリスマスイブの夜が静かに更けてゆきます

心ある方々の幸せを願つて今夜は鈴の音が思われます

鈴はクリスマスに欠かせない大事な宝物

生きるは潮の満ち干きのようなもの

潮が引いた時に現われる珊瑚のように

迷い無き世界があらわれて来るといいのだけれど・・・

わたしの理解の遅さは天然ものですので笑つて許してくださいね

リン

リンはボクからプレゼントをもらう時をずっと待っていたんだね  
神の心・エピソードと云うプレゼントを

今宵はマサミさんにもプレゼントが届くのではないか

レイ

エピソードは最高の贈り物

わたしの痛みや哀しみの意味を教わりやわらげ癒してくれるのです  
あなたがおっしゃったように家族とふれあう方々の平安を祈つて  
わたしはイブを過ごします

真実のアイと永遠の命に感謝して

リン

リン・今宵もキミへの愛しさを平和の祈りとして

皆様が神の贈り物を胸に宿されますように

レイ

あなたがリンと言つとすぐ側にリンさんがいるよひに感じていました

想いの細波に心が苦しくなりました

まだ胸の内には消すことのできない想いがあるようですが  
これがあなたを思いどおりにしないと気がすまない

私の傲慢で横暴なカルマの想い・・・所有欲と嫉妬心なのですね

あなたに教えていただいたお祈りとお父さまが私の心を支えてくださいました

今日はお父さまがまるで幼子に教えるように手と足と事細く導いてくださいました

私はタマヒの頃のように素直にしてみました  
陽の光りあなたの光りを受けて耀くよつと  
流す涙は次へのステップと私の心に唄のように流れています  
もう少し甘えてもお許しいただけるようです マサミ

キミは女性なのだから神様に甘えてもいいのですよ  
本来は身と心を委ねるというフルマイを甘えると云ひのです  
命をかけるということ

キミは導かれやがて本当の自分に気がつくでしょう

今宵はキミのもとへも

サンタからのプレゼントが届くのではないでしおうか

ハルキ

おはようリン

今朝の太陽は夏のように力強く輝いておりました

前の2通は妻とボクの昨日のメールです

彼女のところにもサンタはやつてきましたよ

月ノ輪の君は妻が玉日姫のときの父君です

今は妻の御守護をなさつておられます レイ

あなたに魂を寄り添わせあなたの言葉を心でお受けになられたのですね

燐燐と 照り輝ける日を浴びて 天地に顯す玉結び 玉のスガタに  
幸あれと 祈り祈らば鳴り響く 韶き渡るはウツシ身の 人の輪紡  
ぐ鈴の音かな リン

キミが紡ぐと唄にするのは

神は縦糸と横糸を織りなすよつて宇宙の無限創造オオタマシタツを成しえてゆくからなのでしょう

神の縦糸と人の和の横糸で無限創造という布を織りなしてゆくです  
先程の雲の動きはキミの唄のそれを現わすものでした  
宇宙なる神が地球の天地にあいあう相スガタ

始めに山々の上に横一直線に雲が現われてその上にエックスの雲が現われた

さらにエックスの雲は直線の下に下がり山々に沈み直線の雲はやがて分かれてふたつの直線になるのでした

他の山々には祝福を表わす雲がわきあがるように溢れてくるのです  
エックスは宇宙なる神様を表わし直線は地球神界を表わすものでした  
山々は現われの地球世界

宇宙なる神は近頃地球世界に同化なされたようです

新年の一 日は宇宙なる神様の宣言がなされ

二日から三日にはキミとボクが人の世のめでたさを祝い現わすこと  
でしょう レイ

縦横無限に織り成す糸を手繕り紡ぐ・・・

織り成す布の出来栄えを神様は喜んでくださるでしょうか  
私に訪れた新たな成長の兆しを心静かに受け止めています  
神様のお志を受けて天地を結びあわせることが大切なのだと思えて  
くるのです リン

リン

神の志はボクを通してキミに流れキミはそれに応える  
それは天地の結びあわせ・・・それがアイ レイ

3 - 4 ハカヤギさん（前書き）

蝉

### 3・4 ワカヤギさん

リン

ワカヤギさんの事は神にお任せだよ

彼は時の流れの中でやがて変わってゆくのだからね

若柳の 未だ幼き草木は 神に揺られて大樹とならん

天地の 家族連ねて道ずれて 歩む大道宇宙の松道

今も様々な雲が現われています レイ

ワカヤギさんの事はわたしにどうにかできると以前は思っていた  
彼を変えられるのはわたしだけど・・・

今はただ神様にお任せします

レイ

あなたがわたしの心を明るく灯してくれるのでカルマの家でも迷  
子にならずにすみます

月も太陽も雲に隠れている時でさえ

いつも私達の頭上で照らして下さつておられるのですもの  
マサミさんもきっとお気づきにならるるでしょう

リン

レイ

ワカヤギさんにメールを送りました

彼の気持に応えられないこと

真剣にお付き合いしたいと思つてゐる人がいることを・・・

宇宙の道 若木草木がいつの日か 大樹となるよう祈り祈つて

そうしたらまだ帰れないけれど帰つたら話しあうと

ワカヤギさんからメールが入りました  
彼の心が開きますように  
わたしも心を広くします リン

リン

ワカヤギさんにも機を見てエピソードを読んでいただこう

レイ

そうします

彼はわたしが悪い熱を出したぐらいしか思っていないことがありますから  
彼に真実に向かって勇気があることを願います リン

神の導きが彼の上にも現れますように

ボクは何時でも彼に応えるつもりでいます

ボクに聞きたいことがあればいつでも

ワカヤギさんのメールを待っています レイ

ハイ レイ

待っていてね リン

ワカヤギさんとお話しをしました

これから彼はあなたにメールを送ります リン

ワカヤギです

トモミから聞きました

トモミを助けてくれてありがとうございます

これからも宜しくお願ひします

いろいろあったようですがこれからもボクはずつとトモミを守つていきます ワカヤギ

ワカヤギさん

あなたとは前に一度お会いしていきますね  
エピソードはお読みになられたでしょうか

その中に書かれているように彼女にもボクにも  
そしてあなたにも私の妻の上にも生まれる前からの天命使命があります

私も妻を持つ身ですからあなたの心は少なからずわかつているつもりです

機会があればお会いして話したいとも思つてあります  
是非機会をいただければと思つています

ミカワハルキ

是非そうしましょう ワカヤギ

新年は2日にヨコハマに行きますが御都合はいかがですか

ミカワハルキ

いいですよ ワカヤギ

では2日の午前中にもお会いできればと思います  
時間等がはつきりしましたらまた御連絡いたします  
ミカワ  
ハルキ

マイシア

レイ

ボクは2日の午前中に彼に会つとメールをしたよ

レイ

わかりました

わたしも一緒のほうがよいでしょうか リン

彼とふたりで話しがしたいと思います  
彼もそう思つているでしょう レイ

そうですね

わたしは待っています

リン

レイ

ワカヤギさんの心の扉は少し開かれたようですが  
マサミさんがおっしゃったように始める一歩  
彼はわたしの心の痛みを引き受けることはできない  
それ以外のことならなんでもできる  
わたしの命をあなたが救ってくれた  
そうでなければキミは死んでいたかも知れないな

そこは感謝する

魂の結びつきは認めるが体の結びつきは必要ない・・・・  
わたしは彼の正直な想いを受け止めた  
2日目の日はあなたと逢わずに帰つて欲しいと言われましたが  
わたしに必要なことだと神様が認めるならば誰にも止めることはでき  
きないでしよう

ワカヤギさんはHピソードをパラパラとめくつ見ていました  
真意を掴むことはまだまだ無理のようです  
神や魂のことはわからないと言つて一応わたしが逃げない程度に話  
しを合わせたところもあるようです  
でも子供達には自分から折を見て話すと言つてくれました  
私達は初めて夫婦の関わりを味わったような感覚でした  
わたしはあなたとマサミさんに支えられ見守られて穏やかで幸せでした  
した

彼も話してくれてありがとうございました

レイ

彼の想いは人類共通の想いです

彼が真実を見つめてボクにその疑問を投げ掛けて来るようなじばせ  
界は大きく変わるでしょう

彼は盲いた日を見開き真実の階段の扉が啓けようとしている所です

彼はその扉の取っ手に手を掛けているところを  
キミが彼の背中を押して促している感じだね

Hピソードには不思議な力があります

神の光に撃たれるようなものです

それはまた真撃にうけとめる事がなければ

網の目から落ちる事にもなるのです

だからこそボクは2日には彼と会って話をするのです

彼を網の目から落とさない為にも

レイ

1月2日はワカヤギさんの誕生日でもあります

彼が本当の誕生を迎えるように祈ります

リン

マサミさん

キミの言葉は弁解と言い訳

人の役にたち支えるのは議論でも忠告でもありません

レイ

リンさんが鈴のお話をメールしてくれました  
せっかく私の為に送つてくださったのに嫉妬のカルマに呑まれてい  
るわたしは

リンさんに感情をぶつけてしまいました

あなたを傷つけリンさんを傷つけそして自分をも傷つけていました  
自我を見ているから想いに執りつかれるのかな  
すぐとなりにあなたはいるのに

遠いのは私の心かな

あなたの痛みはリンさんでしか癒えないの  
みんな誰かにわかつて欲しいと思つていてのでものね

たくさんの贈り物を戴き私の心は満たされているのになぜか失望感が  
そして虚しさが雨となるの・・・

これもあなたを思いどおりにしないと気が済まない私のカルマなの

ですね

この雨が一滴のこひず私の烟の滋養になりますよつて

マサミ

マサミさん

切なさは後にカルマを破り神の世界に突入する時の力になります  
今は味わって自分が何をどのように想い感じ考へているのか  
その正体をはつきりと掘むことです　　レイ

アイは人を守り育て慈しむ

欲のない無限のアイが心に響くときに平安が生まれるのではないで  
しょうか

相手を縛り踏みこじるのではアイとは呼べません

別れは成長の過程の中に必要なこともあるのではないで  
だからといってお互いの夫婦の絆が無くなるところではないと信  
じます　　リン

リン

マサミさんはたとえ夫婦であっても相手に所有権行使することは  
己の奴隸とすることに等しいと気がついたんだ  
でもマサミの中にある想いは理解とは裏腹にキミを打ちのめす  
のだね

キミへ嫉妬する心がね

やがてマサミさんも気がつくでしょう　　レイ

リンさんごめんなさい

私はわからないのではなくわかりたくないのですね  
ワカヤギさんの事であなたへの憎しみと嫉妬心を重ねていました  
私には越えなければいけないものがとても多すぎます  
タマヒの心はまだありますか  
お父さまの声も今は聞こえない

私は誰かのために役立ちたいと思つていました

横浜ではセンターで働いていました

大変でしたが育む心を学びました

結婚は自分が幸せになりたいと思つていました

どうしてすぐ目の前にいる人の心をみなかつたのか言葉を聞かなかつたのか

私は自分の醜い想いのなかにいるようだす

扱えない心があります

どうぞ神様のお心を感じとれるようになれますように

真の祈りとなりますように

私は夫に教えを受けリンさんのお言葉で実感するようですが  
素直にまさる知恵はなしとお父さまにいただいたおことばです

今まで忘れておりました

今日一日申し訳ないと言つ気持でいつぱいでした

帰りの車でタマヒの心はどこへと唄があらわれて来ました

一天の 澄み渡りたる大空に 父母の家あり帰る道あり

マ

サミ

あなたの存在は確かに大切なものです

あなたがハルキさんの奥様という事実は今も変わらず替わるもの  
でもありません

わたしからみた存在というのではなく人はみな望み望まれてこの世  
に生まれ

神様からいただいた役割を果たしていることが人の在り方  
存在なのだと思います

あなたのの中に生まれた種は神様からの贈り物  
やがて薔となり美しい花を咲かせることでしょう

アイの種はアイでしか育たないということを忘れてはなりません

あなたが心を見つめなおし素直になるということは  
文字通り自分のために生きるのではなく自分以外のために自らをイ

カスコト

愛する人の幸せを守り抜く」と

あなたの胸にアイは芽生えましたか

リン

本当の幸せをしらなければ  
今を逃したらもう後はないと

今はアイを知るためにお姫さまを捨てて汗だくとなり畑を耕してお  
ります

やり方がわからず四苦八苦しておりますがその畑にはお陽様が燦爛  
と優しく照らしてくださいます  
きっとアイが芽吹く事と思います

種をいただいた方の為にも惜しみなく汗をながします

ママ

あなたの心にも神様のアイが現れているのですね

神のみ心に魂を委ねて安らかな眠りをあなたに

リン

ありがとうございます

メールをいただいた同じ時間にリンさんの事を想つておりました  
私にとって夫とあなたはふたりではなくひとつなのだと信じます

ママ

マサミさん

あなたの深い思いやりに感謝のことばがみつかりません

あなたの胸の内に広がる哀しみから生まれた愛をわたしは確かに受け取りました

ワカヤギさんにもきっと伝わると信じています

陽の光はいつもあなたに降りそそぎ

月の光はあなたの夜道を優しく照らしています

あなたの優しさに感謝の想いを捧げます

苦しいのは始めての一歩で後は導かれるままにとワカヤギさんにメールを送りました

私がそうであつたように

ワカヤギさんも幼さゆえに本当のアイを知らないだけで  
真実を求める心は同じだと思つています

リン

昨日の空はさながら一大絵巻物のようでした

それは星の天位上昇最終場面の様子を表わしたもの

2日の夜にキミに伝えよつ

レイ

ヨコハマは冬の嵐

マサミさんの迷いが響いています

そしてワカヤギさんの心も吹き荒んでいる様子

マサミさんが「自分を愛し許すことができるよう」に祈つています

リン

ワカヤギさんへ

エピソードはご覧になられましたでしょうか

読んでいただけたならそれが思いつきや空想で書けるものではない  
事に気づかれたことでしう

すべては事実なのです

読まれて何か感じる所があたりでしうか

ミカワハルキ

こんな遅くに「めんなさい

あなたと再会できた嬉しさにアマミから焼酎が届くと思います  
長野の友達に送るとき一緒にアイズにもと妹に頼んでしまったのです

どうか奄美世の雲をおさめてくださいね

リン

長野はボクにとっても縁あさからぬ所です

今朝ワカヤギさんにエピソードを読んで感じる所はありましたかと  
メールを送りましたが返答はありません

ボクはけして彼を網から落ちるような田にはあわせたくないと思つ  
ています

彼がエピソードを心で読んでくれる事を祈っています

奄美世のシズク楽しみにしています

妹さんにもよろしくお伝え下さい

レイ

よかつた

わたしも彼に過去に向き合ひ未来へ進むためにも今が大切とメール  
をしました

もう一度エピソードを心で読んで欲しいとの願いを込めて・・・  
彼自身へ贈られたメッセージに気がついてくれるとよいのですが  
わたしは2日の日までさしつげなくじつつ見守つてみます リン

ワカヤギさんは受け入れることの出来ない現実に言い訳したりわた  
しをお荷物に仕立てる事で優位に立とうとしたり

彼にはあせりが見られます

なぜ人は愛されることに慣れてしまい愛することに心を込めること  
が出来ず

我を忘れてその身を碎くのでしょうか

不可思議な存在

ワカヤギさんは何処へ・・・

たぶん本人にもわからないのでしょうか リン

人は神の白洲に立たされると言い訳と弁解に尽くるものです

己がいたらなさ愚かさ浅ましさに気がつく事が眞実の扉を啓く力に  
なるのですが

親鸞上人にして我は罪悪深重の凡夫なり心は蛇渦のごとしと言われ  
ているのです

外はそぼる雨

きつと彼の心境をあらわしているのでしょうか  
彼からのメールがボクに来たときに  
彼は扉の取っ手を掴むことになるのでしょうか

レイ

本当にそうね

人の幸せを願い平和を祈る事の難しさ

外の嵐は荒れ狂い神鳴り様が轟いています

リン

マサミさんとキミのやつどりは現世のものではなく神世のものとな  
つてきているね

だって・愛人的存在のキミと妻のマサミさんのメールのやり取りは  
およそ世間の人達には考えられないのではないかあと想います

レイ

マサミさんはプライドを鍬に変えて畑を耕し種を撒いて実らせよう  
としているわ

うーんわたしもかわいくて愛しくて・・・・  
レイ・あなたがわたしにくださる愛

愛が私をそうさせるのです

リンの吐息が聞こえますか

リンはシ・ア・ワ・セ リン

キミの唇と吐息がボクの頬に感じられる

キミに早く逢いたい

アルテシア

昨夜はアイズでは今時期には珍しい激しい雨と風が吹きあれていま  
した

ワカヤギさんの心の内を表わしている様な嵐は

木々に僅かに残っていた枯れ葉を見事に吹き飛ばし

木々は枝のみの姿になりました

ワカヤギさんの働きはカルマの残骸を一夜にして一掃すると云ふ  
あるようです

やがて春になると新芽が芽づくよつこ

アラタマの御世が現れてくる事でしょう

中には進級出来ずに未だ幼い星に転生して

やり直さなければならない方々もあるよつですが・・・

#### 4・1 神あそび

ソマリヤ  
杣道は山から木を切り出すときに創られる道  
ヤマは大宇宙の真ん中の一番尊い所という意味です  
木は宇宙なる神の現われの姿を表わしているものです  
キミとボクは大宇宙の真中から顯れてこられた神の御前に続く  
人類がやがて通るべき道を創つているのだね  
宇宙に繋がる杣道を レイ

今日の大陽は一段と力強く光り輝いています  
空の迷い雲たちがたじろぐほどに  
今夜は事業団の研究大会でしばらく圈外に入ります  
夕方には龍王様が訪問なされたようです  
あなたとわたしの創る杣道をご覧になりに来られたのかしら  
わたしは今日一日あなたに擁かれている様な  
熱い感覚に胸がフルエティマシタ リン

ボクも同じだよ

キミの温もりがキミの切なさにフルエル胸が・・・  
キミとしばらく離れていると息が苦しくなつてくるような感じで堪  
えられないんだ

キミの胸の切なさはボクの鼓動を激しくする レイ

ねえあなた

ちょっとだけワガママを聞いてくださる・・・  
わたしあなたの左のポケットに入っている携帯電話になりたいの・・・

・ リン

それじゃあボクもキミと一緒にポケットに入つていよ

レイ

ウーンそれでは今夜も枕にあなたの腕を貸して貰ひたがいい

リン

腕だけでいいの レイ

それじゃあ胸も リン

ボクのすべてを運ぶよ レイ

それならわたしのすべてをあなたに任せるわ  
あなたのすべてをわたしに委ねてね リン

ボクはキミにすべてを委ねよう レイ

レイ あなたを愛しているわ リン

リン キミはボクのすべて レイ

レイ

あなたが私のすべて リン

リン・愛している レイ

私も・・・

レイ・・・リンは今夜あなたのポケットで寝るかも リン

じゃあポケットを大きくしておこう

そうしたら本物のキミが入つて来るかも レイ

あなたの胸のポケットであなたはわたしだけを感じてね

　　リン

アステイのキミが還つて来たよつだ

　　レイ

あなただけだもの

わたしの指も手も胸も髪も

わたしはあなただけのもの

　　リン

リンはボクだけのもの

　　レイ

私を捕まえて・レイ

わたしは空にいるかも

　　リン

空なら空に

たとえ海の底でも今度は必ず見つけるよ

　　レイ

だって必ずキミのしつぽが見えているもの

ホント?!

なら雲の中でわたしはウサギになる

　　リン

たとえキミが雲と同じ色のウサギになつてもボクは必ず見つけるよ  
ボクには秘密の力があるもの

愛するキミがどこへどんな所へ行つたとしても

ボクはきっと必ずキミを見つけだしてキミを抱きしめるの・チ・カ・

ラ　　レイ

レイ・レイ

もうリンは降参するわ

でもこんどふたりになると起きはあなた・・・覚悟はよくて

　　リン

ボクは何時だつてキミに命をかけているよ

レイ

もうリンはあなたなしでは生きていけない  
わたしをあなたの

ウーン・エーと・ウーン

あなたのお嫁さんにしてください

リン

キミは永遠の過去から永遠の未来までボクの恋人でありお嫁さん  
恋という文字そのままのね  
お互にを見失ったような過去もすべては神の贅だった  
普通ならそこで終っていたかもしね  
しかしボクとキミは再び出会った  
そしてそれがキミとボクの絆

リン

音叉だつただろつか  
ほらピアノの調律に使うもの  
僕達はあのように上だけ見るとふたりに見えるけれど  
シッポは繋がっている

レイ

レイ

それならあなたが隠れてもわたしはすぐにわかるわ  
あなたはわたしの頭だものね

リン

ボクはもうキミを探しはしても隠れはしない  
だってもつキミから永遠に離れないとボクは誓つた  
だからわたくしの力を頑いたのさ

レイ

レイ・・・・

あなたは永久不滅  
あなたへ真っすぐにわたしの心との身と命をあなたに  
わたしのすべてはあなたの・・・あなたに・・・ああなんて言えば  
いいの リン

リンはボクの心を癒してくれるね

だつて壊れそうになる頃にこうしてメールをくれるだらつ・・ボク  
の女神様  
ワカヤギさんからは音沙汰がないけれどエピソードは読んでくるこ  
とでしよう

おやすみリン  
愛しいキミ・・・・

心の片隅に

暗黒の空から雪になれる冷たい雨が降る  
雨は永遠に止まぬもののように瞳を濡らし心を闇くと誘つ  
けれどリン  
キミはただヒカリを見つめていればいい  
やがてヒカリは彼の心を朝日が昇り大地を照らすように照らしていく  
れるだろう  
キミをボクの全身全靈で包みながら抱き眠る  
もうこれからはキミの悲しみはボクが引き受け約束だよ  
キミはボクの胸でただ安らかに眠るとい  
レイ

あなたのアイに照らされてわたしは永遠のアイを誓います  
わたしの中の女神がヒカリとなり人の世を照らすことができますよ  
うに リン

## 4・2 マチガイメール

キッチンカウンターの窓下の小川に一羽の番の白鷺が羽を休め陸み  
あつて いました

白い動物は神の使い

キミとボクのカムアソブスガタ レイ

朝から大惨事が起きました

通勤途中のバスの後部にバイクが挟まれて人が下敷きに  
胸にせまる悲しみの涙・・・ リン

この世の方々が一見無事に見えてあるのは

守護の神靈始め身代わりになつておられます神々様の働きのおかげ  
なのです

それは菩薩行なのです

バスに乗っている人々が無事なのはその下敷になつて血を流し息も  
たえだえに身を犠牲にしてある存在があるからこそです レイ

神々様が人を大切になさつておられるのに

知らぬとはいへ私達は無知で失礼なフルマイばかり  
わたしに出来る事を捧げ尽くしていくようにいたします  
ありがとうございます リン

今日がお仕事の最終日で新年は3日までお休みです  
平成19年はあなたと新年をお祝いして

宇宙なる神の御前にアイの契りを交わすのですね  
わたしはあなたに何も差し上げられないけれど  
真つすぐな心を・無垢で純粋な魂をあなたに捧げあなたを愛し  
心をこめて報いることができますように リン

新年にキミとあつた時は神世の現われを喜び祝い奉る

今日三つの編集社にエピソードを送りました

ボクとキミは新年からアイを天地に現わす・・・唯それだけ  
レイ

エピソードはあなたと私のアイの相

スガタ

真実のアイが人々に伝わりゆきますように

リン

今はキミとボクにしか現わしえないこの世界はやがて世の中の標準となつてゆくことでしょう

マサニさんも手伝ってくれる

レイ

リン

マサニさんの成長、ふりには頭が下がります  
ワカヤギさんは現実に耳をふさぎ拗ねてみたり

些細な事に大袈裟に慌てたりと吹き荒ぶ嵐のごとくです

リン

彼は考えの及ばない世界を見て驚き慌て騒いでいるだけでも大丈夫・・・

神の御計画は絶対なのだから

キミとボクはアイしあう

ただそれだけ

そのアイの相スガタが世の上にも現わるてまいりますように

レイ

あなたとわたしは無限に愛しあう  
神様の「」計画に従います

リン

未来の至福がボクの胸に描かれている

レイ

あなたは今夜ひとりでお休みになるの  
わたしはバスルームでお湯にユラレティマス  
至福のときの前触れ リン

アラタマの新年2日は  
キミと一緒にバスに入つてタコタコとコリコリレたい  
新年がとても楽しみです レイ

私達

時のたつのも忘れて溶け合つのではないから  
バスルームでふたり湯気になつてしまふかも リン

キミは今日からお休みだね

さつきのアラタマのメールを深夜にボクは間違えてマサミさんに送  
つていたんだ

でも彼女の心は嫉妬の心が動いていなかつたよ  
マサミさんはボクへの所有権を放棄し始めているんだね  
素晴らしいよ・・

マサミさんにおめでとつと言つてあげたい レイ

まあ

マサミさんは乗り越えられたのですね リン

先ほどマサミさんからいただいたメールには  
わたしに嫉妬の牙を向けてしまいながらなぜに惹かれるのか?とい  
われてみればおよそ常識からは考えおよびもしないこと  
わたしにもわかりませんが神のなさる不思議の一つ  
いつか解き明かされる日が楽しみとお返事しました  
あなたの笑みがわたしにも移ります リン

ジュピターは私の誓いの歌でした

私が神様の愛を知る為に

窓の外を降りしきるこの雪のよつこ

私の心は白く清らかになつてほし

マサミ

薄つすらと積もつた雪に世界が白（神）一色になつた

それはマサミさんの心の世界を表わしているね

人の幸せが我が事のように嬉しくなる・・・それが神心

メラメラとした熱で溶かしてしまわぬように常なる心懸けが大切

メールも神懸りだね

神は人に失敗をさせてお使いになるんだね

レイ

愛する人への仕合せが女の幸せ

何があつたとしてもアイする事を止めることはできませんものね

リン

人の心は尊いもの

彼女はやがて天空のタマヒ様そのものとなつてゆくことでしょう

レイ

わたしもあなたと同じ想いを感じています

リン

そうだね・神の賜物だよ

マサミさんはボクを所有したかつた自分の傲慢な心に気がついて

今はその反極にある無償のアイを掴もうとしている

人は結婚相手や恋人が浮気しようものならば

絶対に許せないという気持ちになるようだけれど自分が赤子の頃からその相手を育てたわけでもなく年頃になつた頃にその両親から授かっただけなのに

どうしてそんな風に思えるものだらう  
自分と結婚しているのだから自分以外の異性に触れるなど絶対  
に許さないという思いは・結婚という鎖で相手を縛りつけ自分の言  
うことを聞き思ひどおりにしないと気が済まないという事を突きつ  
けていることになるのです

本当に相手の方を大切に思うならば  
その方の意思と成長を尊び無限に尽すだけ  
許せないという心は思いどおりになる存在がそつならなことへの  
ジレンマだね レイ

マサミさんが真の使命を果たせるよう<sup>元</sup>  
これからも尽くしてまいります

地球の進化神化の為にも リン

ジユピターは私の誓い

神様は人を人の為に創られたのですね  
私は今迄自分を自分の為にあると思い違にしていました  
それに気がついたのです マサミ

幸靈の 鈴音鳴らす手弱女は 人の幸祈る神のまにまに レイ

幸靈の 御親の胸へ還り咲く 世に平安の祈り込めつつ リン

会津の津のもとは州の字なのです

州はス

それは大宇宙なる神様のこと

親愛の意を込めるときも州をつけるのです

昨夜からの雪が朝はほんのりと晴れていましたが  
今はまた天から降ってきて

やつと雪国らしい景色になりました

マサニマの心もこの雪のよつて揺るがなものとなつてこそゐ  
よつて

天降りて 玉フル御子の靈フリノ 鈴鳴る響き涼やかに鳴り

玉姫に 天降る沙雪の美しさ 間の静寂に白銀の華

白銀の 舞降る華に智の神の 鼓響けば地の神も舞う

やつぱりキミはステキだね

キミにキスを レイ

わたしがマサニマさんに送つたお祝いの歌をあなた教えてもらつたの  
玉姫に 舞降る沙雪の美しさ 夜の間に白銀の輝き

あなたはなんてステキなの

わたしのおでこにあなたのキスをもらつわ リン

あなたと初めてアイを結んだ日曜日

二度目の出会いは水曜日

火曜日は三度目の出会い リン

(日)は宇宙なる神そして(水)はキミ  
次の(火)はボクの主宰だね レイ

レイ

火曜日はあなたの日

わたしはあなたの望むままに リン

キミはボクという船にタコタコと振り揺られて

天の心地を現わすことだらう

もうすぐだね・リン

レイ

進化は新歓

わたしの姿があなたの瞳に映るでしょ

わたしの姿をあなたはこよなく愛して下さったもの

神様が下さった肉体は魂の器だから

リンはあなたに見合つた器になりたいの

リン

現われの姿はその心より現われるのです

心は形を求めカタチは心をススメル

キミの心は天空のキミにに同化しようとしているね

キミの姿もボクの愛したリンそのものになってゆくことでしょう

レイ

あなたの愛したリンの一一番好きなところはどう

リン

リンの一一番好きなところ  
それは大きく円らな深いアイを湛えるその瞳

レイ

わたしも同じ

あなたの瞳が大好き

千恵と勇気を湛えやさしくわたしを見つめる火のようなあなたの瞳  
わたしのすべてを愛し天地を慈しむあなたの黒く深い瞳

そしてあなたのクチビル

あなたの囁く言葉と私を呼ぶ時の声

そのクチビルにキスをされるとわたしの身も心もあなたにトケルノ  
そしてあなたの手

アイをその手にわたしを労わり癒やす

あなたの手の中から放たれたアイにすべてが委ねられてゆく

リン

昨夜は神御直伝の技をマサミさんに伝えました  
本当は彼女の感動の涙が見たかったのですが彼女の心はまだそこま  
でいいかないようです

まだ彼女の中に臆する気持

テレテライが残っているからなのでしょう  
まあ次第に覚えてゆくことだから

レイ

マサミさんは7日の間に随分と変わられました  
「自分の進化の早さに戸惑いもありのようですが  
やがて真の相<sup>スガタ</sup>が現われてくるのでしおうね

リン

そうだね

キミの進化とマサミさんのそれは一重の輪のよつてお互<sup>シモチ</sup>に干涉し  
あい変化してゆく

レイ

あなたが導き私達は習い覚えるのですね

リン

やがてキミとマサミさんはお互<sup>シモチ</sup>を育てあい  
マサミさんはボクから卒業してゆくことじょう  
ボクはマサミさんを天からお預かりしているのだね  
夫と云う存在で

一の輪は一の輪に響<sup>アマタ</sup>る二の輪へそして数多<sup>アマタ</sup>へと

ヒのものとの世の標となる

ヒツノヒツノ神事だね

レイ

神の庭 習い覚えてヒツノヒツノ学び取らなば英智榮えん  
リン

恥ずかしいと思うのも自分の心を観ているからなのですね  
神様の心を観なければいけないのですね マサミ

恥らいは手弱女の神心

テレテライはカルマだよ

チハヤブル 神の御手業廠かに ヒツミの宣に薦現われん

レイ

フウーなんてお見事・・・

新珠の 御親の教え慎んで オミナの努め果たさんとせむ

広がる青空に今もあなたを想います

あなたを愛していることを世界中に発信したい

リン

外は雪も止んで世界が明るくなっています

恥らいは慎みから現れるのです

キミがボクの心に叶うだろうかと思い願う心は恥じらい

神様に望まれる姿になりたい『ああ神様未熟な私をお赦し下さい  
どうかあなたの御心に叶つ私となりますように』と祈り願う心

これが恥じらい

いつもキミがボクに捧げている心

テレは自分が恥ずかしいとか間が悪いなあと思う心

これは自己の気分なのです

ニギニギ  
和和のお結びは人の世の平和を結ぶ

和と和はリンとマサミさん

ふたりは本来なら恨みあい憎しみあう立場にありこそすれ  
姉妹のように愛しあい導きあい育てあう関係というものはいままで  
に存在しえなかつたのではないでしょつか

それは地球上の争いの原因をひっくり返したことになるね  
何故なら地球上のすべての争いの根本原因は嫉妬心だからです

ひっくり返ればそこに平和が現われる レイ

あなたとリンさんはひとつと私の心が憶えたからでしょう  
平原綾香さんのアルバムはわたしの物語を表わしてくれています  
ジュピターが入つていればなんでも良かったのに  
たまたま買ってきたこのアルバムはわたしの心を導くものでした  
マサミ

#### 4・3 バスルームの秘密

ボクはお風呂に入り体を洗うときには腕に脚に今日も一日、苦労様です明日もよろしくお願いしますと労います

肉体は地の神より授かりしものです

その神への感謝とわが身と一体となり命の贊となつてある動植物の命への感謝と

そのツトメの成就を祈り

五体に天地の五大陸を見つめ

過去から現在そして未来のその土地と民族と人々の平和を祈ります神からの恩恵を慈しむようにして体を洗うのです

撫で摩つて慈しんであげるのです

リンのバスタイムが永い理由がここにあるのでしょうか　　レイ

わたしのバスタイムはその日一日の疲れを清め洗い流していますですから永くかかるのです

もう一つの理由はあなたには・・・秘密です

地球はわたしに海という故郷と山という恋人を授けてくださいました

大地は肉体

風と水は流れる血

空は魂

海は子宫

山は生きる千恵

木々は人々の営みを支え動植物は細胞

髪は飾り

すべては神様からの授かりもの  
神様へ無限の感謝を捧げます

人は天地自然森羅万象万世万物の声を聴く

だから万物の靈長というのですね  
自分で創れるものはひとつもない

想う心考える力判断する力も神の賜物  
神の千恵と力であらゆる物事を築きあげる  
そして自分の人格も

上げるは神への献上だから奉る

人は神の千恵と力によって無限の進化創造の活動に乗り  
そのすべてを神に捧げ奉るのですね リン

やはりキミはすべてを知っているね  
ボクの言葉にキミが応える

すると知っていたことが理解となる

ところで秘密つてなにバスタイムのヒ ミ ツ レイ

あのね・レイ

わたしはお湯にユラレテ体を労わり魂を癒すの  
そしてあなたにわたしを預けて眠りにつくの  
あなたは夜の搖り籠・・・わたしのナイト・フフ

リン

キミのバスタイムはボクとのバスタイム

キミはボクの目を見つめボクの身体を慈しむ様に隅々まで洗い清めてくれる

ボクはキミの匂しに応える様にキミを見つめ全身の隅々まで洗い清める

そしてふたりは湯に浸たり

キミはボクの腕のなかに寛いでいる

キミとボクは語りあい慈しみあいキスをかわしあう

ふたりはタコタコと漂いながら時間を忘れたよつて愛しみあう

温かい宇宙神の子宮アステイのなかに擁かれていた時のように

レイ

レイ・・・アア

あなたにはすべてお見通し  
このわたしがどんなに幸せか・・・・・言葉にできないほど  
あなたの無限のアイに私は無限に応えたいのです レイ

冬きたりなば春遠からじ

キミが以前に言つていたね

実際に冬至を境に日は延びて春に向かつてゐるのに  
現実には一月頃が一番寒かつたりする  
そして暑さ寒さも彼岸まで  
現われの世界とはかようなものですね レイ

あなたが教えて下さいましたね

神の世界が先

人の世界は後

人世の夜はやがて暁を迎える日が来るのでしきう リン

キミは一段と腕が細くなつてきてゐるね

僅かな時の流れの中にも変化がありウツシミにも現われてくれる  
暑さ寒さも彼岸まで

これはこの地上世界でたゞどのような者にならうと  
どんなに物を持とうとも彼の世の先には持つてはいけないという教  
えでしよう

肉体も金銭も地位も名誉もそして家族さえも  
何一つ彼の世に持ち帰りは出来ないです

それらは神から授かつた世を生き通す間に必要な道具のようなもの  
だから大切にして上手に使えばいい  
人が必要以上にそれを求めて止まない時  
道具たる物質に執着とともに沈みゆくのです  
人は必ず死を迎えます

そして何物も彼の世へは持ち帰る事は出来ないのです  
キミの変化も彼岸頃までのんびりと レイ

人は進化すると体は必要なくなるので  
少しずつ小さくなり消え失せるのかと思つていました  
あなたとのアイの契りはしばらくは綴ることができるので  
時間には限りがある  
あなたとアイをかわすことを一寸足りとも無駄にはできないわ  
地球の神様に笑われてしまふもの レイ

体が小さくなつてなくなつたらキミの魅力が減るじゃないか  
今のキミの姿がボクとジャストフィット  
神は自然の移り変わりのようにキミを変えてゆく  
そうだ・ワカヤギさんの名前はなんておっしゃるのですか  
レイ

タミオといいます リン

ヒノモトの アイ燐々と御光は 遍く世界照らしあわせる  
祐道を 月の明かりを導<sup>シベ</sup>にして 兎とともに歩み歩んで レイ

穏やかな陽射しが降りそぞろココハマです  
今年もあと僅かとなりました  
空に地に風にありがとうの想いが胸いっぱいに広がります  
神はわたしを娘として慈愛のマナザシで見守られているのだと感じ  
てくるのです

目頭が熱くなり涙がこぼれて頬を伝います  
あなたを愛しています リン

白雪が 覆いし御池の水面にも 漣立つを誰ぞ知るらん

ボクは昼過ぎから陽射しのつよい空を観ながらキミのことを想つて  
いました

日の本の国アイ燐々とその御光は遍く世界の隅々にまで照らしあわ  
せるだらうと

ソラから響いて來た

愛するリン

キミの心の細波は雪が覆つて誰にも見えないようでいても  
ボクは知つている レイ

お部屋のお掃除に一日かかつてしましました  
何を見つけたと思う

あなたと初めてイズで出会つた日『1998・8・7』わたしの  
メモリー

わたしを田覚めさせてくれたあなた

わたしの中の何かが求めていたものに出会えた喜び

零と凜

その魂はフルエながら融合して天空へ昇り  
数多<sup>アマタ</sup>とひとつとなり広大な空間をメテオのよつに飛びまわり  
融け込むようにソラとひとつになる

あなたからのメールが届いたときに見つけたのです リン

199887

神はキミとボクを遣い世界を無限創造に導かれると数字があらわし  
ているね

キミとボクは初めから決つっていたんだ

今にしてすべてが成就することが定められていたのだね

今日も空を觀るとキミとボクが無限にあつていた

標 標 標となるように

やがてマサミさんがかわりワカヤギさんがかわるでしょう  
初めは身近な人から・やがては数多に・・・ レイ

神のはからいに胸がフルエマス  
夕暮れの太陽は茜色に輝き東には上弦の月が白銀色に照らされています

わたしは陽に月に祈りを捧げました

あなたとわたしの愛が宇宙神とひとつになります

地球を照らし平和へと導きますように

リンはレイを無限に愛することを陽に月に誓いました リン

キミが観たように陽と月は男と女のスガタ

地上世界を照らすその光は神より現われたもの

人は神にテラサレテその光を地上世界にウツスのです

レイ

アラタマの 世に鈴音の鳴り成りて 数多に民の導べとは為らん

リン

キミとボク 天地の宣に鳴り成りて 韶き伝わる天地のアイ

レイ

アルテシア 星のイズミに魂コレテ キヨラ一咲くはサチの華なり

リン

メイシアに 天降る零の満ち充ちて 地に舞い降りし天の華かな

レイ

慎んでアラタマの年の祝いを申し上げます

新たな年をお迎え出来るのもあなたのアイあればこそ

あなたと迎える平成19年は大切な一年の始まり

すべてはアイにて始まると神も云われています

リン

神々と ふたりの永久の夢叶い 高天原に神々集う リン  
ヒトニ<sup>ヒトニ</sup> 搾るぎなき心の胸のつけ 山の裾根に響きこじだます  
マナミ

初田の山 疊りつむる山の御神<sup>ヒコヘ</sup> べぬくひ ひろがり響く山の御神<sup>ヒコヘ</sup> レイ

#### 4・4 ジュピター（蟬と小鳥）

宇宙はアイより生まれ

アイによつて育まれ

アイによつて終える

私達は宇宙なる存在を何とお呼びしたらいいのでしょうか

それは宇宙神様オヤナルカミサマ

銀河も星も人も動植物も時間も空間もあらゆる物質非物質の元は宇宙なる神にあつて

すべてはそこから現われいでたものだからです

それは一点の状態から無限の広さへと拡がり続けています  
やがてその拡がりは大極に達すると反転して狭まり始めやがて元の点に還ります

もちろん地球外にも人類は存在しております

宇宙のすべてが元はひとつから現われているのですから自分がこの星に存在しているということそのものが他の星にも人類が存在する証拠となるのです

ですから地球外の宇宙人類方は宇宙の兄弟姉妹なのです

肉体や魂の状態はその星によつて異なります

星の条件に見合つた肉体や魂の状態になるのです

人としての姿は同じように見えてもその心境は異なるようになります

見た目が同じように見える星であつてもその状態と存在する人類は異なる場合が多いのです

心は無限段階・無限領域・無限感覚・無限時間

魂の中に存在する靈は全宇宙人類共通のものです

人は肉体に魂が宿りその魂に包まれた様に靈が存在しております  
靈は宇宙神より生アれて星々に現われ

その星の魂と自分で現わした魂を融合し靈に纏い  
人の胎を借りて星から授かる肉体に宿り地上世界に生まれ落ちてい  
るのです

人は小靈ミタマ

宇宙なる神は大靈オオミタマ

そこから分れてあるので小靈を分靈ワケミタマとも云つのです

小靈は宇宙神ご自身でもあるのです

Every day I listen to my heart  
ひとりじゃない 深い胸の奥で繋がつてゐる

宇宙神は私達の深い胸の奥に小靈としておられるのです  
なぜなら大靈オオミタマと小靈ミタマは別なようでひとつの中だからです  
ですから人はいつでも宇宙神の音ゴトを聴くことが出来るのです  
人は本来宇宙なる神といつもいつでもひとつなのです  
やがて誰もが思い出すでしょう

三才頃に聴いた天の啓示を

地上世界にあなたが生まれて初めてあなたに語りかけてくださった  
その時のこと

神はあなたになにを語りかけてきたのでしょうか  
人は始めてそれを思い出さねばならないのです

あなたが胸の深い奥に耳を澄まして

その音を聴くなれば

きっと宇宙神は応えてくれる

でも人は魂を持ち肉体を持つてるので

聴こえてくる音が宇宙神のものであるかそうでないかは判断が出来  
ないものです

ともするとその音はゴト

生まれ変わりの中での蓄積や経験からのものであつたり  
肉体の要求欲望からのものであつたり

靈的存在があなたの胸をかりて語るものであつたりもするのです  
たとえ靈能が有つたにしても神か邪かの判断はつかないものです  
ですから宇宙神は必ず復唱確認をなさいます

それは天地自然の姿に

それは朝夕の太陽に

部屋に差し込む光の彩りに

木々の狭間から零れさす光りに

風や雪や雨のフルマイに

空に浮かぶ雲の形や鳥の姿に

虫やカワズの声に

それは人の行いの姿や言葉の内にも

宇宙神は天地自然森羅万象万世万物の相スガタをして教えてくれるのです

あなたが生まれる以前にはいつたいどこに存在していたのでしょうか  
それは地球の過去のどこかの国であつたかも知れない

それとも地球以外の星々のどこかであつたかも知れない

星の輝ヒカリが私達の目に映る時

そのヒカリは何万年何億年もかけてあなたの目に映るのです

今耀いている星がすでに数億年前に消滅しているかも知れない

その星の耀きは今あなたがそこにいることを伝えているのです  
この世界に偶然はありません

星の耀きはあなたの目に映るその時の為に何万年何億年も前から光  
を発しているのです

それはまさに奇跡としかいよい出来事ではあるけれど

宇宙では至極当然なのです

神は何十億年も前からあなたが今の一瞬に星の耀きを目に映すこと  
を知つておられたのです

星の耀きはあなたの心に応えているのです

Every day I listen to my heart

深い胸の内に手をあてて聴いて「らん

あなたはいつもひとりじゃない

あなたの周囲をよく観ると

あなたの着ているお洋服や家や家族や水に光に空氣  
すべては宇宙なる神様から現われてきたものです

それは宇宙神そのものの相スガタでもあるのです

神は靴下となりお洋服となり肉体となり魂となり

家族となり家となつて私達に仕えなくして下さつておられるのです

人はありのままで宇宙なる神の御胸に擁かれているのです

人が真の神を知るならば

人は神の役に立ちたいと願うものです

でも自分はいつたいどうしたら神のお役に立てるだろうかと  
そのときに混沌とした暗黒を彷徨うのです

なぜなら神を知り宇宙を知れば知るほど現実の自分の姿やフルマイが  
神に仇なすることはあっても役立つといつこりからは程遠いことが  
わかつてくるからなのです

そしてその時神は云われます

人の歎き悲しみ苦しみ傷みを知りなさい

それはすべて我が歎き悲しみ苦しみ傷みなのだから・・・と

人は人生に夢や希望を持ちます

しかしその人生も先に進んでみると現実という重い石のよつなもの  
がのしかかり

夢や希望は現実を生きると云う事に摩り替えられてゆきます

人の生きる姿は様々に見えても

神からすると皆同じように見えているのです

それは自己の満足を追い求め実現してゆく道

人はそれを当然と思つてゐるでしょう

だがこれからははつきりと言わねばなりません

私達を在らしめている大宇宙では

自己満足は罪悪であると云ふことを

宇宙には法則があります

それは宇宙の成立時に宇宙神が立てられた誓い  
すべての人はその思い行いを法則に照らしあわされ  
そのすべてを我が身と魂に受けるのです

今までの人類は人の背後で護り導かれる守護神靈が80%を受け  
ておられて

その人が受けるのは20%でよかつたのですが  
此からは50%は本人が受けることとなるでしょう  
自己満足な思い行いの過ちから現われたカルマによつ  
人は自らの本当の姿を知ることになるのです

しかしそうして夢を失うことより

もつと悲しいことがあります

それは自分を信じてあげられないこと

人は自分を信じています

ではその信じている自分と云うのは一体何者なのか  
人が信じてゐる自分と云うのは自我の想いなのです  
大宇宙は個人の為に存在しているではありません  
創生した宇宙神のために在るのです

ですから自我の想いは宇宙の法則に照らしあわされて  
是か非かを問われることになります

本当に信じるべき自分とは

胸の深い所におわします宇宙なる神

その真実の自分を信じられた時

人にその観知と力が現われてくるのです

宇宙神はアイであられます

神のアイは人の感情想念の愛とは似て異なるものです

神への信とアイを学ぶために人は孤独と云うトンネルを越えねばなりません

孤独は永く切なく虚しく

泥の中をはいざり回るような現実をくぐり抜けねばなりません  
そのトンネルは無限のようにみえて一瞬のようでもあります  
トンネルをくぐり抜ける間には様々な人生があるでしょう  
しかしたとえどんな事があるうと

その出来事に偶然はありません

何一つ偶然はないのです

すべては意味があり意義があり価値があるので

そのひとつ々の出来事は

やがてトンネルを抜けたときに目の前に神が現われて

その神への信と真実のアイを現わす為の原動力となるのです

ロケットが地上から宇宙へ飛び立つ時にいちばん推進力を使うのと同じように

神への信と真実のアイを現わすには勢いがいるのです

孤独とは神の御胸に帰る時のチカラを培うことなのです

そして孤独のトンネルを抜ける時に一番肝心なのはひねくれないこと

それは直<sup>スナオ</sup>

自分にスナオであり人にスナオ

現われの運命にスナオ

それは神にスナオということなのです  
直<sup>スナオ</sup>に勝る知恵はなし・・・

人は孤独と云うトンネルの中でやがて絶叫を上げる時がくるのです  
身も心も絶え々になりながら・・・

心の静寂に耳を澄ませばきっと神の音は聴こえてくるはず  
あなたが神の名を呼べばあなたの前にきっと現われてこられます  
そうあなたの愛するべき存在となつて  
あなたは目の前に現れた愛するべき存在の姿をとつた神を  
抱きしめてその命の温もりを感じるので

あなたの遙かな過去世から今まで

通ってきた人生の歎きも悲しみも苦しみも傷みも  
神はすべてを知つておられます  
そしてそのひとつとは

必要な出来事であり経験であつたことも  
すべての所業は宇宙神の為の経験であり出来事であったのです

私達は

自分を赦し人を赦し

自分を愛し人もまた愛するのです

すべては宇宙神の現われの相スガタであり神の御経験であるのですから  
いつもいつでも

何処の誰もひとりではありません

神は必ずあなたの目の前にあなたの愛するべき存在として現われて  
神はその中におられるのです

そしてあなたの中にも・・・

ですから人はその身そのままでいつもいつでも神に愛されているの  
です

宇宙なる神はこの現われの世界が変わりゆく狭間で  
人の過去世から現在までの集大成の望みが叶うこと願い祈つてお  
られます

あなたの輝ける未来の為に後悔を残さぬように

星の環境がかわるとき人は集大成の望みを実現し後悔を残さないことがとても大切なのです

人類の課題は所有権を放棄してあらゆるすべての望みを叶える」とです

運命に現われてくることはその本人が望んで臨んだことを神が実現された出来事なのです  
でも人はそれに不平をもち不満をあらわし歎きに落ちてゆく  
神は偽らざるその人の願望を現わしておられるのに・・・

人間は本来あらゆるすべてを尊び称え  
恋しみ慕い仕え尽くすべき存在なのです  
何故なら存在のすべては

宇宙なる神より現われたものだから

人類はその反対の自尊心と執着心に囚われて  
自己の満足を追い求めて止まないので  
それは宇宙の理念とは正反対の世界

アイ

宇宙の真はそこに現われてくるのです

人類は自己の満足不満足の世界に生きています

神の満足・・・

人は神から現われてくるのだから自分以外のすべての望みに仕え尽くすこと

それが神の満足に繋がってゆくのです

所有権は自己と自己以外を思いどおりにしたいという想い

それは人類に階級を作り

人の世に歎きと悲しみと苦しみ傷みを現わす

人類は仕えあい尽くしあいを現わさなければならないのです

蟬と小鳥は人類の現在と未来の姿を表現しているものです  
蟬は幼虫の時は土の中で木の根の養分を吸つて生活し  
普通六年から七年かかつて成虫になります

七は宇宙の進化の数を示し

木は宇宙神の現われの姿を表わしています

根からの養分は神の滋養であり知恵と力そして恩恵を示しています

蟬の成虫は一週間でその人生を終えます

人の一生涯は蟬の一週間に当ります

そして過去世の人生は蟬の土中に送つた7年間なのです  
蟬の中には地上にされることもなく土中にその生涯を終えるものもあるでしょう

成虫になれても子孫を残せずに死ぬ蟬もあるでしょう

ヒグラシの鳴き声は世の悲しみを唄つています

アブラゼミやミンミンゼミは自己の想いを唄つています  
やつと地上に出て成虫になれたとしても  
外敵に襲われたり事故にあつたりして命を終える蟬もあるでしょう  
無事に成虫になりその一週間をおもいきり鳴いて子孫を残しその天  
命を成就した蟬は

次に生まれ変わる時には小鳥になるのです

小鳥になれば大いなる空を自由に飛べる翼を与えられます  
神の耳を楽しませる声を授かります  
そしてその愛くるしい姿を与えられます

小鳥は撒かず刈らず天地の恩恵を受けてそのままに生きてゆけるのです

人の世もやがてのうちにそつとうへじでじょう

アラタマの御世は人があらゆる所有権を放棄するといふこと  
人は利害や思い違いの愛という鎖で

お門にや繫き縛つあつてこぬ」ひとに『ばかつことはいな

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3453c/>

---

トリプラス エピソード 2

2010年10月21日22時29分発行